

2018 年度

韓国派遣留学報告書

実習先：慶熙大学

実習期間：9月1日（土）～12月27日（日）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017092
中山芽瑠

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：慶熙大学 生涯教育学部

研修期間：平成 30 年 9 月 1 日（土）～平成 30 年 12 月 21 日（金）

※帰国は 12 月 27 日（木）

2 研修先概要

(1) 大学について

1949 年、‘文化世界の創造’という創立の精神の下に開校した慶熙大学は、ソウル、スウォン、カンヌンの 3 つのキャンパスに 20 の単科大学、7 学部、75 学科、15 専攻、及び一般大学院に加え、6 つの専門大学院、9 つの特殊大学院を備え、総合的な学術の殿堂を構築している。そして、国際教育院では毎年世界 100 余カ国から 6000 名以上の留学生が韓国語と韓国文化を学んでいる。特に慶熙大学の大学（院）生と 1 対 1 で行う「韓国語トウミ（チューター）制度」は外国からの学生が韓国生活に適応し韓国語と韓国文化を深めるための重要な役割を担っている。

(2) 国際教育院で行われている教育について

1 クラスに同じ国籍の人多くなりすぎぬよう配慮がなされており、多国籍の外国人と共に韓国語の樹上を受ける。15 人ほどの少人数クラスであるため生徒 1 人 1 人と先生がしっかりと向き合える環境である。そのため授業でわからない点があればすぐに先生に聞くことができ、充実した環境の中で学習を行うことができる。また、最新言語教育理論に基づいた実践的な教材で、話す・聞く・読む・書くの 4 機能のコミュニケーション機能を総合的に学習することができる。

3 研修目的

今回の留学の目的はやはり語学力の向上である。日本には授業内でしか韓国語を使わず、日常で話す機会がないため、韓国語能力を伸ばすことに限界を感じた。日常的に韓国語を使うことができる環境に行き、韓国語能力の向上はもちろんのこと、留学によりたくさんの出会いをし刺激をもらい、自分の視野を広げたい。そのため、ずっと夢だった韓国留学ができることに感謝し、たくさんのことを学びたいと考える。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後	
9	1 (土)		到着、入寮	
	3 (月)	オリエンテーション		
	4 (火)	韓国語 (初級1)	自由	
	5 (水)	韓国語 (初級1)	韓国事情 (特講)	
	6 (木)	現地学習		
	7 (金)	韓国語 (初級1)		
	10 (月)	韓国語 (初級1)		
	11 (火)	韓国語 (初級1)	韓国の映画	
	12 (水)	韓国語 (初級1)	韓国事情 (特講)	
	13 (木)	現地学習		
	14 (金)	韓国語 (初級1)		
	17 (月)	韓国語 (初級1)		
	18 (火)	韓国語 (初級1)	韓国の映画	
	19 (水)	韓国語 (初級1)	韓国事情 (特講)	
	20 (木)	韓国語 (初級1)	セミナー	
	21 (金)	修了式	韓国の歌	
	チュソク連休			
	28 (金)	オリエンテーション		
	10	1 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌
		2 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
3 (水)		韓国語 (初級2)	セミナー	
10	4 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画	
	5 (金)	韓国語 (初級2)		
	8 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌	
	9 (火)	ハングルの日		
	10 (水)	韓国語 (初級2)	セミナー	
	11 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画	
	12 (金)	韓国語 (初級2)		
	15 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌	
	16 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)	
	17 (水)	韓国語 (初級2)	セミナー	
	18 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画	
	19 (金)	韓国語 (初級2)		
22 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌		

	23 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
	24 (水)	韓国語 (初級2)	セミナー
	25 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画
	26 (金)	韓国語 (初級2)	
	29 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌
	30 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
	31 (水)	中間試験	セミナー
11	1 (木)	中間試験	韓国の映画
	2 (金)	韓国語 (初級2)	
	5 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌
	6 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
	7 (水)	韓国語 (初級2)	セミナー
	8 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画
	9 (金)	韓国語 (初級2)	
	12 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌
	13 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
	14 (水)	韓国語 (初級2)	セミナー
	15 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画
	16 (金)	韓国語 (初級2)	
	19 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌
	20 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
	21 (水)	韓国語 (初級2)	セミナー
11	22 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画
	23 (金)	韓国語 (初級2)	
	26 (月)	韓国語 (初級2)	韓国の歌
	27 (火)	韓国語 (初級2)	韓国事情 (特講)
	28 (水)	韓国語 (初級2)	セミナー
	29 (木)	韓国語 (初級2)	韓国の映画
	30 (金)	韓国語 (初級2)	
12	3 (月)	期末試験	韓国の歌
	4 (火)	期末試験	韓国事情 (特講)
	5 (水)	特別授業	セミナー
	6 (木)	特別授業	韓国の映画
	7 (金)	修了式	
	10 (月)	TOPIK 授業	韓国の歌

	1 1 (火)	TOPIK 授業	韓国事情 (特講)
	1 2 (水)	TOPIK 授業	セミナー
	1 3 (木)	TOPIK 授業	韓国の映画
	1 4 (金)	TOPIK 授業	
	1 7 (月)	TOPIK 授業	韓国の歌
	1 8 (火)	TOPIK 授業	韓国事情 (特講)
	1 9 (水)	TOPIK 授業	セミナー
	2 0 (木)	TOPIK 授業	韓国の映画
	2 1 (金)	修了式	
	2 2 (土) ～ 2 6 (水)	自由研修	
	2 7 (木)	帰国	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 韓国語 (初級 2)

各自のクラスでの授業。毎日、9時から13時までの4コマの授業で最初の2コマは毎日文法の授業。後半の2コマは話す・聞く・読む・書くの授業を日替わりで行う。先生方はもちろんすべて韓国語で授業を行うが、クラスに見合ったレベルの韓国語で話してくれる。習った文法を使った例文作成と、日記の宿題が出される。15人ほどの少人数クラスであるため、非常に勉強しやすい環境であった。

ii) 現地学習

夏学期では現地学習が2度あり、1度目はNソウルタワーでソウルの景色を一望し、国立中央博物館を見物した。2度目はロッテワールドで水族館と遊園地へ行き楽しんだ。秋学期には有名な観光地、南怡島へ行きクラスの仲間との思い出を作った。



ロッセワールド



南怡島

iii) 韓国の歌

韓国の様々なジャンルの歌を聴きみんなで歌ってみたり、歌詞について考える。それ以降は「自分の好きな歌手」について調べ PowerPoint と Word を作成しプレゼンを行った。

iv) 韓国事情（特講）

韓国の文化について学ぶ授業。テコンドーや K-POP ダンス、習字を習ったり、韓国の伝統遊び、ハンコ作り、公演を観に行くことなどもして、文化について楽しく学べる授業であった。



ハンコ作り

v) セミナー

自分で決めたテーマについて、日本と韓国を比較し PowerPoint と Word を作成しプレゼンを行った。

vi) 韓国の映画

先生が用意してくださった韓国映画やドラマを見る。字幕なしで見ると韓国語を全て理解できなくても十分に楽しめる映画やドラマであり、心配することはなかった。見終わった後は、先生と映画について振り返り、楽しく韓国語を学ぶこともできた。

vii) 中間・期末試験

試験は、中間も期末も文法・話す・聞く・読む・書くの5つを2日間で行われた。成績のうち40%が中間試験、50%が期末試験のためとても重要である。

viii) TOPIK 授業

最後の2週間では特別授業として、TOPIK 対策に特化した授業が国情生だけで行われた。過去問を解き答え合わせをし、現時点での自分の語学力を見直すことができた。

ix) 自由研修

すべての授業が終了し、帰国までの5日間は各自自由に過ごした。

5 当初目的・目標への達成度

当初の目的であった語学力の向上であるが、留学をしている間に、自分の韓国語能力が向上したと実感できる場面があった。1つ目は、授業中だ。先生が話していることをはじめは全て聞き取ることはできなく、理解することがとても大変であった。しかし2ヶ月、3ヶ月と授業を受けているうちに自然と先生の話聞き取り理解することが難しくなくなっていた。そのことから、韓国語中心の生活から韓国語のリスニング能力が少し向上したのではないかという実感を持てた。

しかし、先生はできるだけ簡単な韓国語で話してくれるが、毎週会っていた韓国学生（トウミ）とコミュニケーションを取ることはもっと難しかった。2人での会話のため聞くことと話すこと、どちらもできなくてはならなかった。そのためはじめの方はやはり距離を縮めることが難しかった。だがこれも回数を重ねるごとに会話が弾むようになり、その学生からも直接韓国語能力が少し向上して自信もついたようだという言葉ももらうことができた。

日本にいたら日常でほとんど使わない韓国語であるため、留学に行くことができ、本当に良かったと感じることができた。

6 反省・課題

この4ヶ月で非常に多くのことを学ぶことができ、有意義な研修となった。
大変だったことも楽しかったことも忘れることなく、今回の研修で学んだことを今回きりで終わりにせず、これからも韓国語を上達させるための努力をして行きたいと考えている。

謝辞

今回、慶熙にて優しく丁寧な指導をしてくださったたくさんの方、韓国での生活を支えてくれたトウミのパクジウンさん、そしてその他大勢の関係者の皆様に感謝を申し上げます。また、留学生活をとて気にかけてくださったシン先生。留学へ行くまでの授業を担当してくださった吉澤先生、パク先生、川上先生にもとても感謝しています。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、今回の留学に参加でき、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。